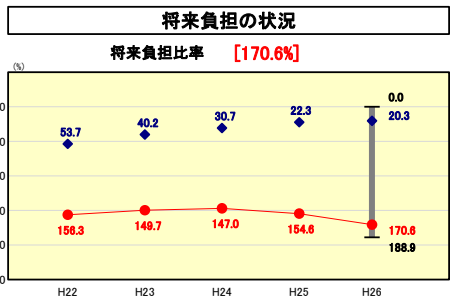


(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	26,927	人(H27.1.1現在)	-	%
うち日本人	26,862	人(H27.1.1現在)	-	%
面積	67.32	km ²		
歳入総額	12,016,420	千円	170.6	%
歳出総額	11,458,420	千円		
実質収支	382,384	千円		
標準財政規模	6,323,790	千円		
地方債現在高	12,910,580	千円		



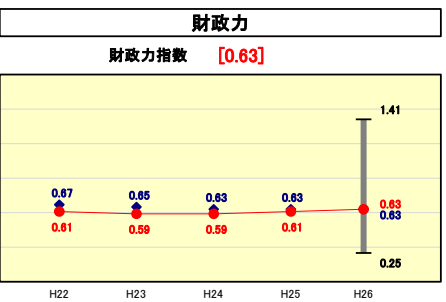
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 136/138 全国平均 45.8 岩手県平均 67.0

将来負担比率の分析欄

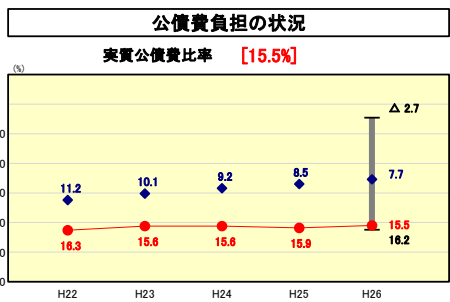
前年度から16.0%となった要因として、矢幅駅前地区土地区画整理事業に係る整備等業務委託の長期間の債務設定により、将来負担額が大きくなっていることがあげられる。平成27年度の事業完了までは、地方債残高も増となる見込みであることから、引き続き厳しい状況が続くが、その後は将来負担額が圧縮され、徐々に改善されていく見込みである。



類似団体内順位 64/138 全国平均 0.49 岩手県平均 0.33

財政力指数の分析欄

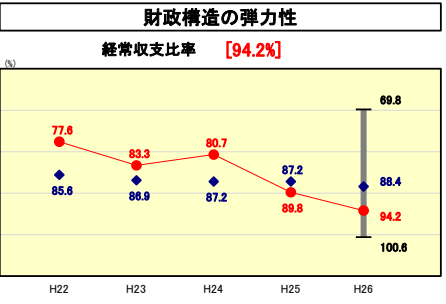
前年度より0.02ポイント上昇し、岩手県平均0.33ポイントを上回るとともに、類似団体平均と同値となった。民間の開発行為等により人口は微増で推移しており、今後も既存工業団地への企業誘致並びに市街化区域編入地区への人口増加施策を推進し、個人・法人住民税及び固定資産税等の増収増加等による自主財源の確保に努める。



類似団体内順位 137/138 全国平均 8.0 岩手県平均 12.4

実質公債費比率の分析欄

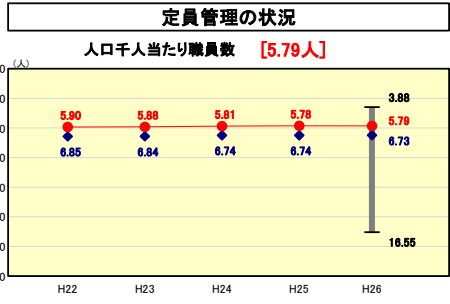
岩手県平均及び類似団体平均を上回っているのは、過去の学校・給食センター建設事業による元利償還、下水道整備事業による元利償還に充当する公営企業繰出金が主な要因である。また、矢幅駅周辺土地区画整理事業による元利償還が開始することから、今後も15%前後で推移すると見込まれる。引き続き、事業の圧縮や効率化による地方債の新規発行額の抑制に努め、健全な財政運営に努める。



類似団体内順位 112/138 全国平均 91.3 岩手県平均 88.8

経常収支比率の分析欄

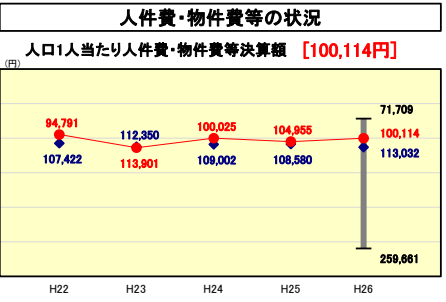
前年度比4.4%悪化し、岩手県平均及び類似団体平均を上回る高い水準となっている。要因として、地方税は前年度から3.7%の増収となった一方、歳入における地方交付税は8.7%の減となり、経常一般財源収入総額の減があげられる。また、扶助費並びに補助費、維持補修費等の経常的経費総額の増があげられる。公債費については、事業完了までは今後もある程度の増加が見込まれるが、プライマリバランスを考慮した事業の精査に努める。



類似団体内順位 42/138 全国平均 6.96 岩手県平均 8.27

人口千人当たり職員数の分析欄

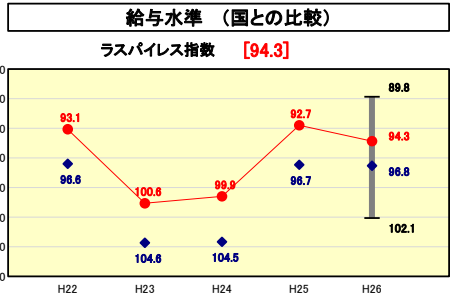
指定管理者制度の活用や公立保育園の民営化等、定員の適正化に係る取組みを早期に実施してきたことにより、類似団体及び岩手県平均を下回っている。職員一人当たりの業務量は増加する中で厳しい状況となっているが、業務内容の改善や人員配置等の創意工夫により、今後も適正な人事行政の運営に努める。



類似団体内順位 48/138 全国平均 119,984 岩手県平均 153,462

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は、岩手県平均及び類似団体平均を下回っている。要因として、人件費は新陳代謝による減であり、物件費は前年度の豪雨災害に伴う災害対策事業の普減があげられる。



類似団体内順位 31/138 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレズ指数の分析欄

当町の給与水準は、県内から見ても低い水準にあり、ラスパイレズ指数は、類似団体及び全国町村平均の中で2.5ポイント下回っている。今後も、職務・職責に応じた適正な給与水準を維持するように努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

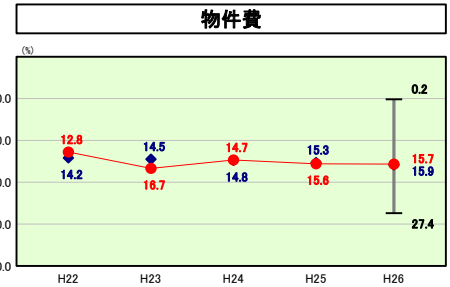
岩手県矢巾町

経常収支比率の分析

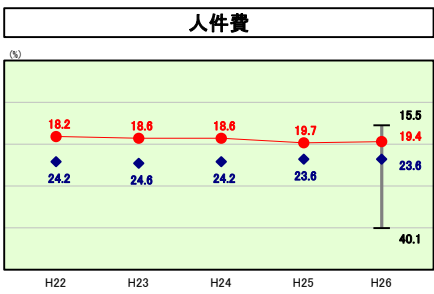
人口	26,927	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	26,862	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	67.32	km ²	実質公債費比率	15.5	%
歳入総額	12,016,478	千円	得米負担比率	170.6	%
歳出総額	11,458,420	千円	市町村類型	H22 V-2 H23 V-2 H24 V-2	
実収支	382,384	千円	(年度毎)	H25 V-2 H26 V-2	
標準財政規模	6,323,790	千円			

● 当該団体の値
◆ 類似団体平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

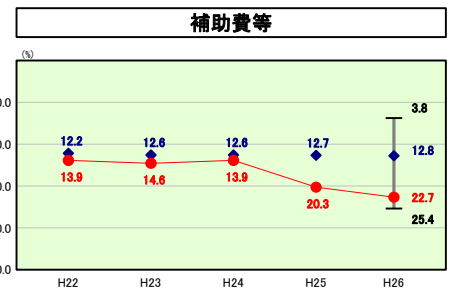
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



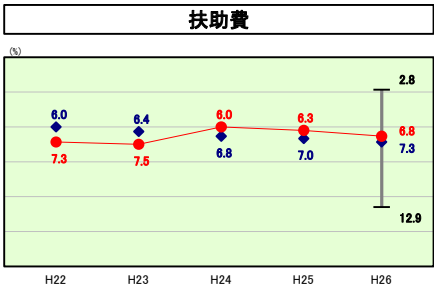
物件費の分析欄
前年度の豪雨災害に伴う災害対策事業によって増となったが、類似団体平均を下回っている。



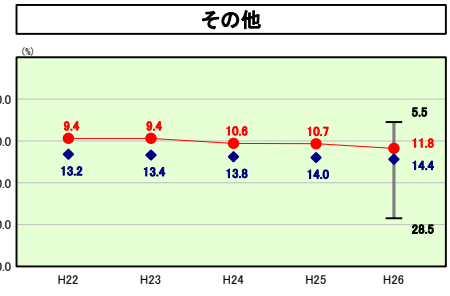
人件費の分析欄
職員給は増となったが、人件費は新陳代謝による減となり、類似団体及び岩手県平均を下回っている。給与水準の適正な管理及び職員数の抑制を図っており、今後も適正な人事行政の運営に努める。



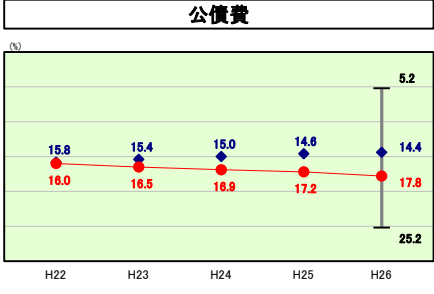
補助費等の分析欄
前年度から2.4ポイント増となった要因として、下水道事業及び一部事務組合等に係る補助費のほか、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための多面的機能支払負担金が平成26年度から実施されたことがあげられる。今後は、補助金を交付するのが適当な事業であるか精査するとともに、明確な基準を設けて、不適当な補助金の見直しや廃止を行う方針である。



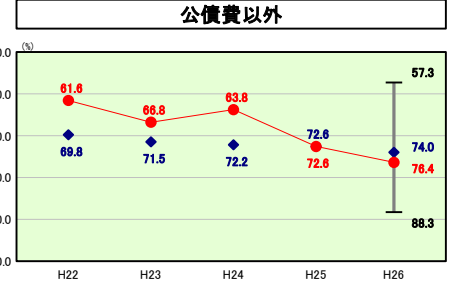
扶助費の分析欄
「矢巾町福祉のまち宣言」など福祉のまちを標榜する当町は、平成24年度以降は扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を下回っている。今後も社会福祉及び児童福祉関係経費は増加することが見込まれるが、「矢巾町健康長寿のまち宣言」の理念に基づき、予防施策を推進することによって扶助費を抑制するよう努める。



その他の分析欄
その他に係る経常収支比率は、岩手県平均及び類似団体平均を下回っている。その他に係る費用で大きな割合を占めるのは繰出金であるが、今後も特別会計及び公営企業会計において、健全な財政運営を進めていくことにより改善を図っていく。なお、公営企業である水道及び下水道事業会計については、事業に係る費用を明確にし、独立採算制の原則に基づいた料金の値上げ等による健全経営化を検討する等、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



公債費の分析欄
類似団体及び県平均を上回っているのは、過去の学校・給食センター建設事業による元利償還、矢幅駅周辺土地区画整理事業による元利償還の開始が要因であり、今後は中学校建設事業及び土地区画整理事業に係る元利償還が増加していく見込みである。事業内容の圧縮や効率化による地方債の新規発行額を抑制しながら、健全な財政運営に努める。



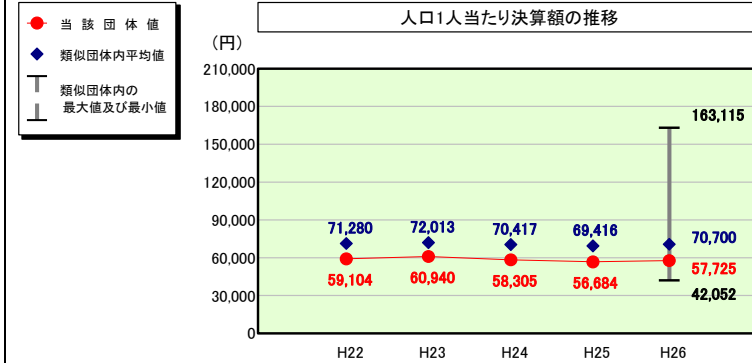
公債費以外の分析欄
公債費以外に係る経常収支比率は、類似団体平均を2.4ポイント上回っている。公債費以外の個別の費用についても全般的に見直しを進め、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

岩手県矢巾町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



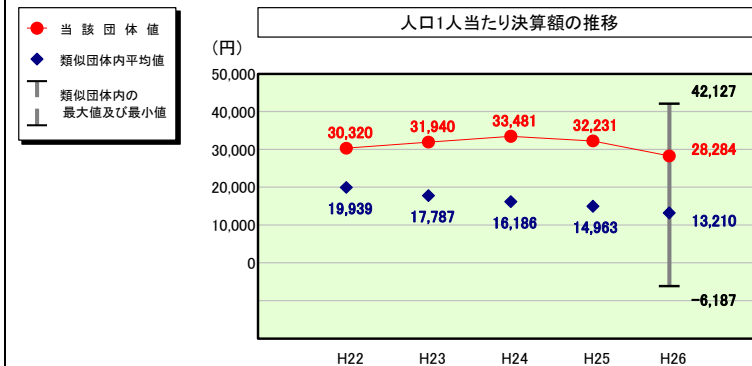
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,317,244	48,919	59,313	▲17.5
賃金(物件費)	117,710	4,371	5,376	▲18.7
一部事務組合負担金(補助費等)	199,648	7,414	7,786	▲4.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	131	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	44,650	1,658	2,777	▲40.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	9,167	340	1,317	▲74.2
▲退職金	▲134,055	▲4,978	▲6,006	▲17.1
合計	1,554,364	57,725	70,700	▲18.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.79	6.73	▲0.94
ラスパイレス指数	94.3	96.8	▲2.5

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

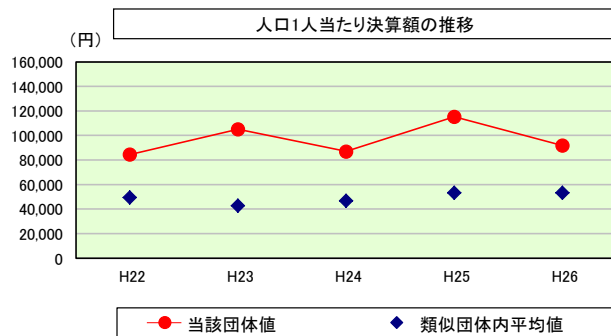


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,189,707	44,183	33,640	31.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	393,574	14,616	10,374	40.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	148,696	5,522	2,665	107.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	54,439	2,022	1,343	50.6
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲49,564	▲1,841	▲3,110	▲40.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲975,262	▲36,219	▲31,707	14.2
合計	761,590	28,284	13,210	114.1

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

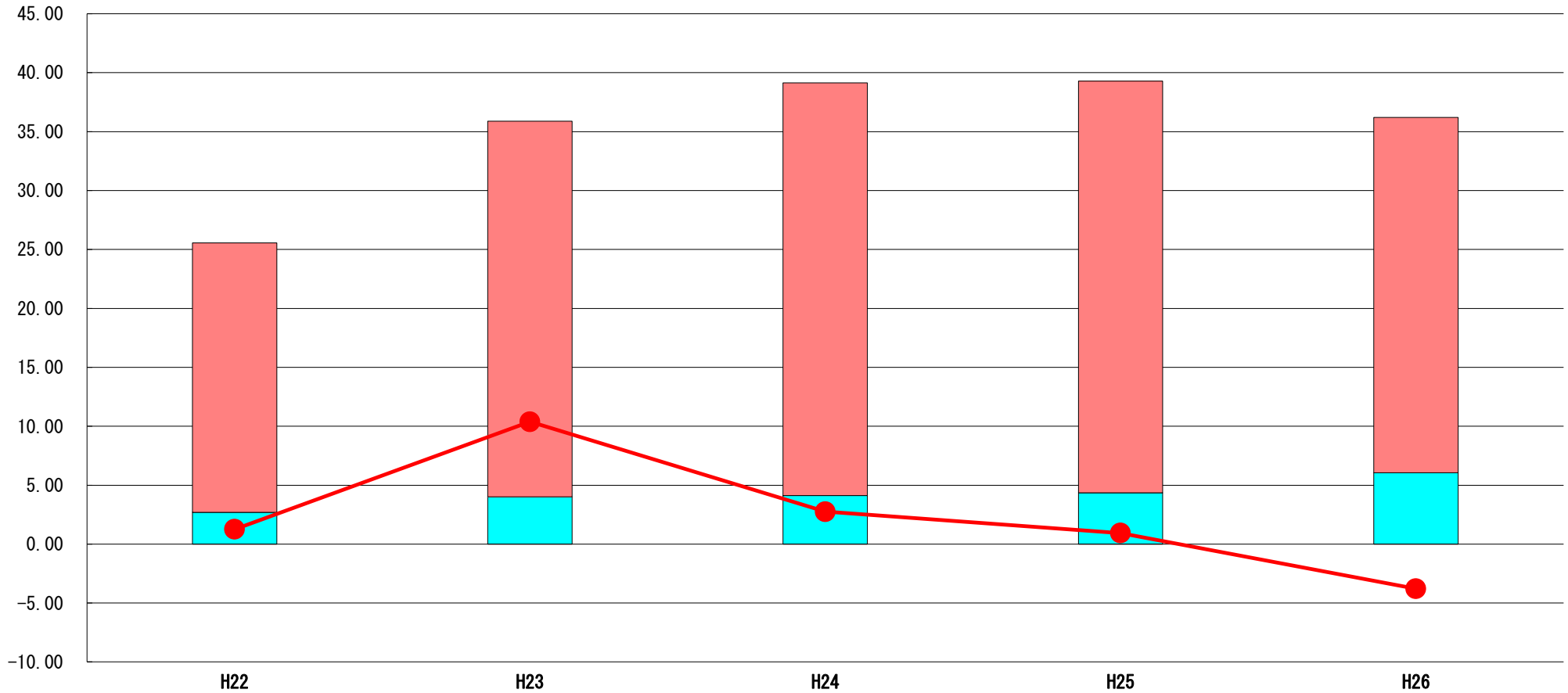
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H22	2,274,678	84,457	32.1	49,426	4.6	27.5
うち単独分	309,701	11,499	▲63.6	26,568	▲4.6	▲59.0
H23	2,807,145	105,058	24.4	42,839	▲13.3	37.7
うち単独分	690,915	25,858	124.9	22,027	▲17.1	142.0
H24	2,319,115	86,956	▲17.2	46,819	9.3	▲26.5
うち単独分	312,047	11,700	▲54.8	24,121	9.5	▲64.3
H25	3,090,533	115,232	32.5	53,270	13.8	18.7
うち単独分	227,230	8,472	▲27.6	24,316	0.8	▲28.4
H26	2,473,393	91,855	▲20.3	53,292	0.0	▲20.3
うち単独分	707,506	26,275	210.1	28,900	18.9	191.2
過去5年間平均	2,592,973	96,712	10.3	49,129	2.9	7.4
うち単独分	449,480	16,761	37.8	25,186	1.5	36.3

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成26年度

岩手県矢巾町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		22.85	31.86	35.02	34.94	30.16
 実質収支額		2.70	4.02	4.12	4.35	6.05
 実質単年度収支		1.26	10.38	2.75	0.94	▲ 3.79

分析欄

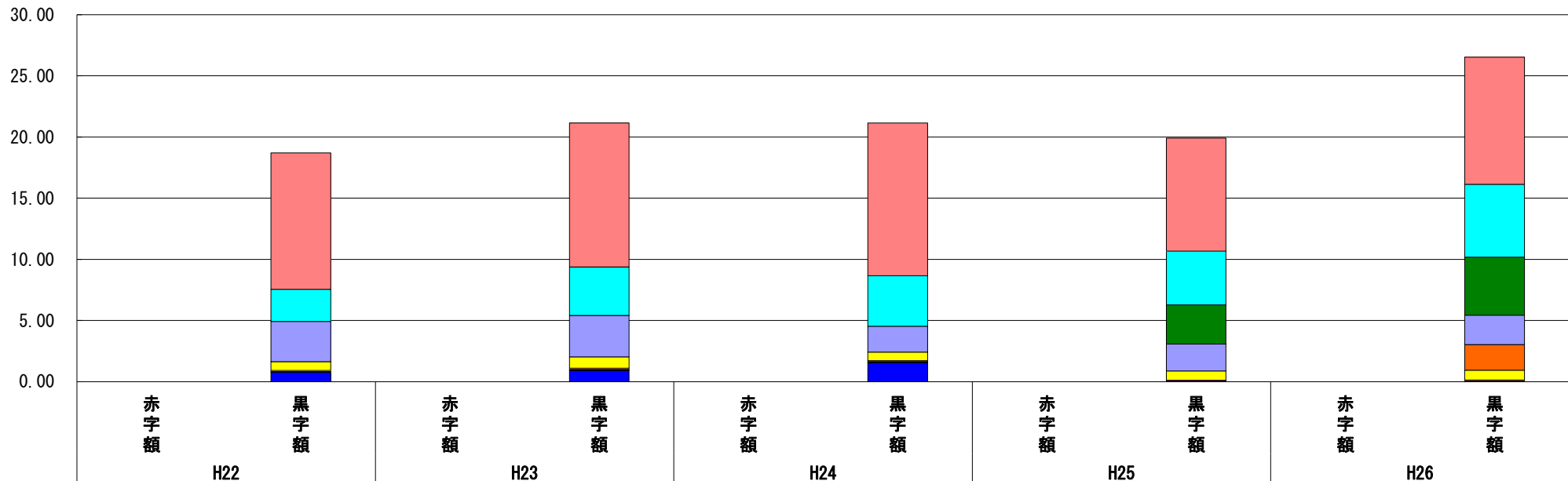
前年度に続き実質収支比率が増加した要因は、地方創生先行型事業並びにプレミアム商品券発行事業、矢巾スマートインターチェンジ整備事業の歳出について、繰越事業となったためである。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

岩手県矢巾町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計		11.16	11.77	12.48	9.24	10.40
一般会計		2.63	3.95	4.13	4.39	5.97
下水道事業特別会計		-	-	-	3.21	4.73
国民健康保険事業特別会計		3.29	3.40	2.11	2.19	2.41
矢幅駅西地区保留地処分事業特別会計		-	-	-	-	2.09
介護保険事業特別会計		0.72	0.92	0.70	0.76	0.81
矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計		0.09	0.15	0.13	0.10	0.10
後期高齢者医療事業特別会計		0.05	0.04	0.03	0.02	0.03
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.77	0.91	1.56	-	-

分析欄

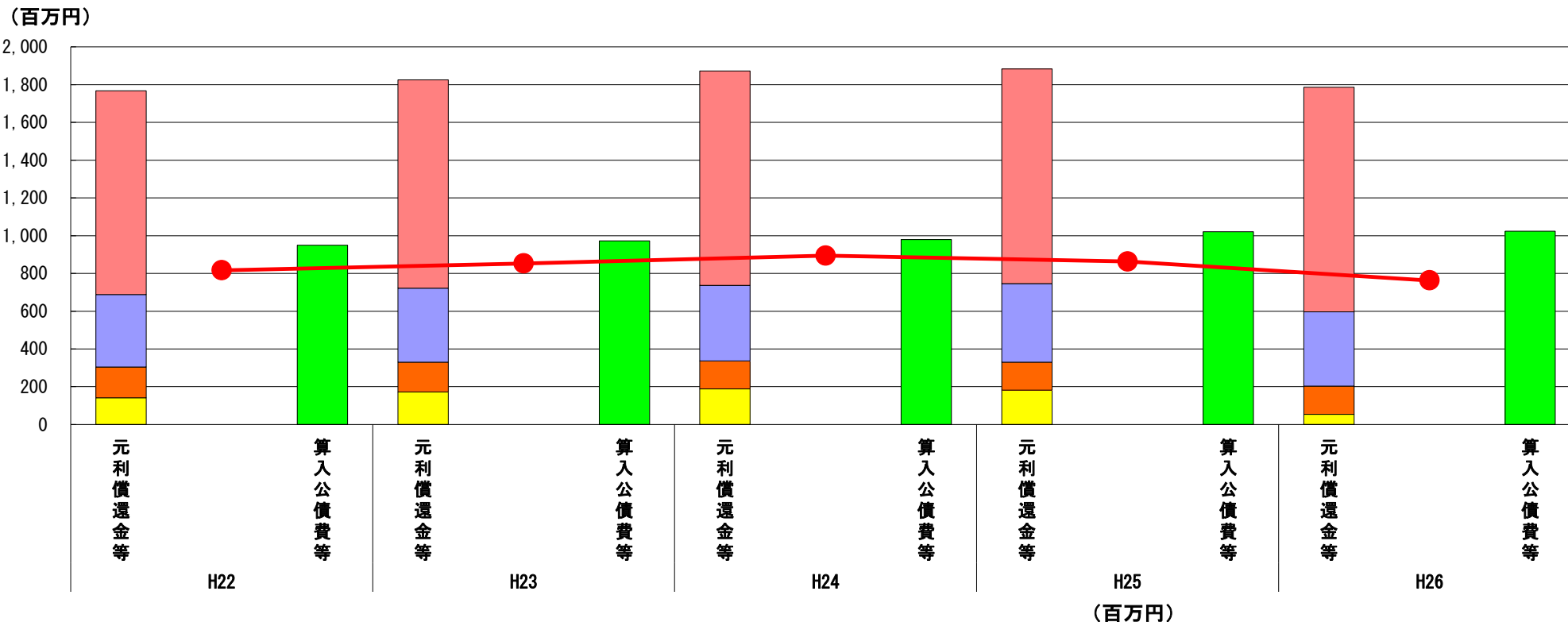
全会計において、赤字は無く良好に推移している。
 今後も全会計が黒字決算となるよう、プライマリーバランスを考慮した歳入の確保及び歳出の抑制をし、健全な財政運営に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

岩手県矢巾町



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,078	1,103	1,136	1,138	1,190
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		385	392	400	416	394
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		163	158	148	148	149
	債務負担行為に基づく支出額		141	172	189	182	54
	一時借入金の利子		0	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		950	972	979	1,021	1,024
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		817	853	894	863	763

分析欄

元利償還金については、平成22年度までは順調に減少しているが、平成23年度は、矢巾中学校建設に係る元利償還が開始されたことにより増額となっている。

また、矢幅駅周辺土地区画整理事業による元利償還が開始することから、今後も事業の圧縮や効率化による地方債の新規発行額の抑制、事業実施の繰延、交付税算入率の高い起債を優先した借入れをするなどの対応により、健全な財政運営に努める。

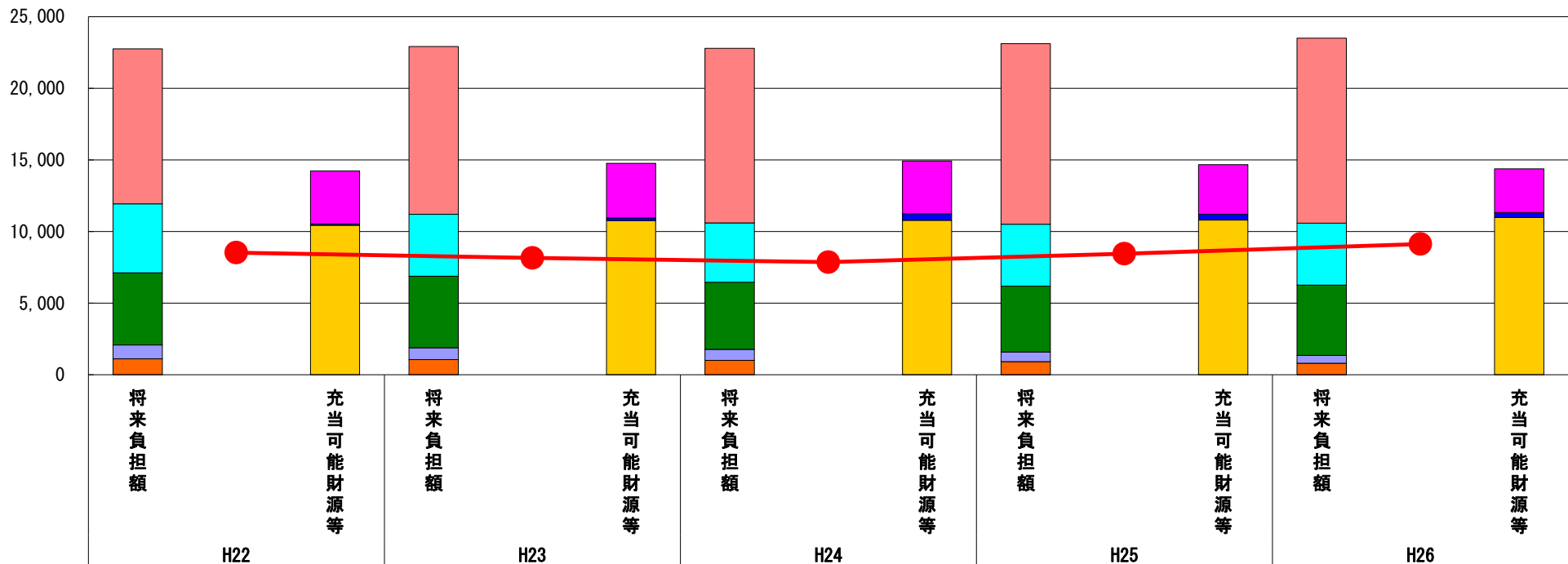
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

岩手県矢巾町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		10,824	11,703	12,179	12,601	12,911
	債務負担行為に基づく支出予定額		4,811	4,322	4,153	4,326	4,316
	公営企業債等繰入見込額		5,034	5,005	4,676	4,607	4,922
	組合等負担等見込額		965	814	778	664	540
	退職手当負担見込額		1,115	1,069	999	920	807
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,701	3,817	3,686	3,479	3,044
	充当可能特定歳入		87	172	448	395	344
	基準財政需要額算入見込額		10,437	10,770	10,791	10,800	10,983
(A) - (B)	将来負担比率の分子		8,525	8,154	7,859	8,444	9,125

分析欄

平成22年度に矢幅駅前地区整備等委託に係る平成46年までの債務負担行為が行われたことにより、債務負担行為に基づく支出予定額が大幅に増加している。
また、地方債残高も矢巾中学校建設事業、矢幅駅周辺土地区画整理事業に伴う起債により増加している。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。